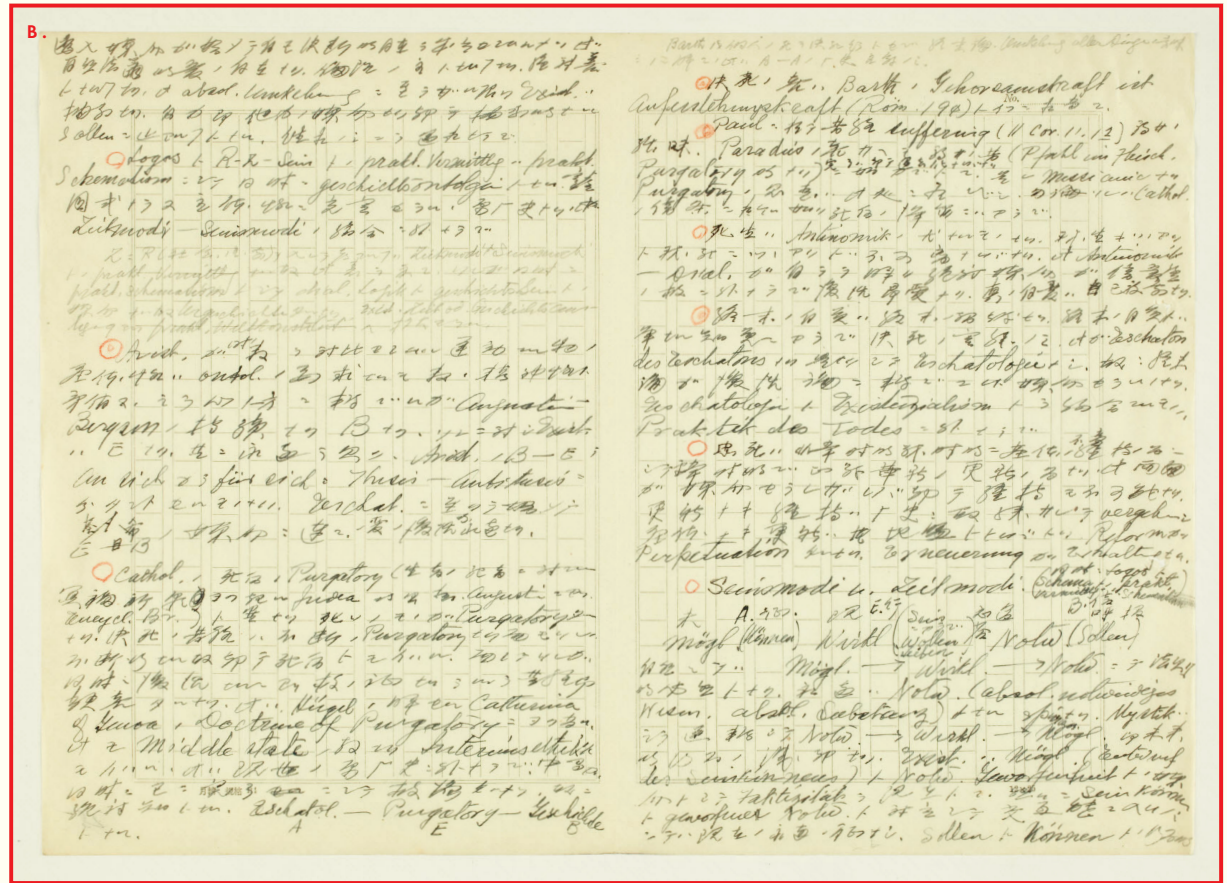
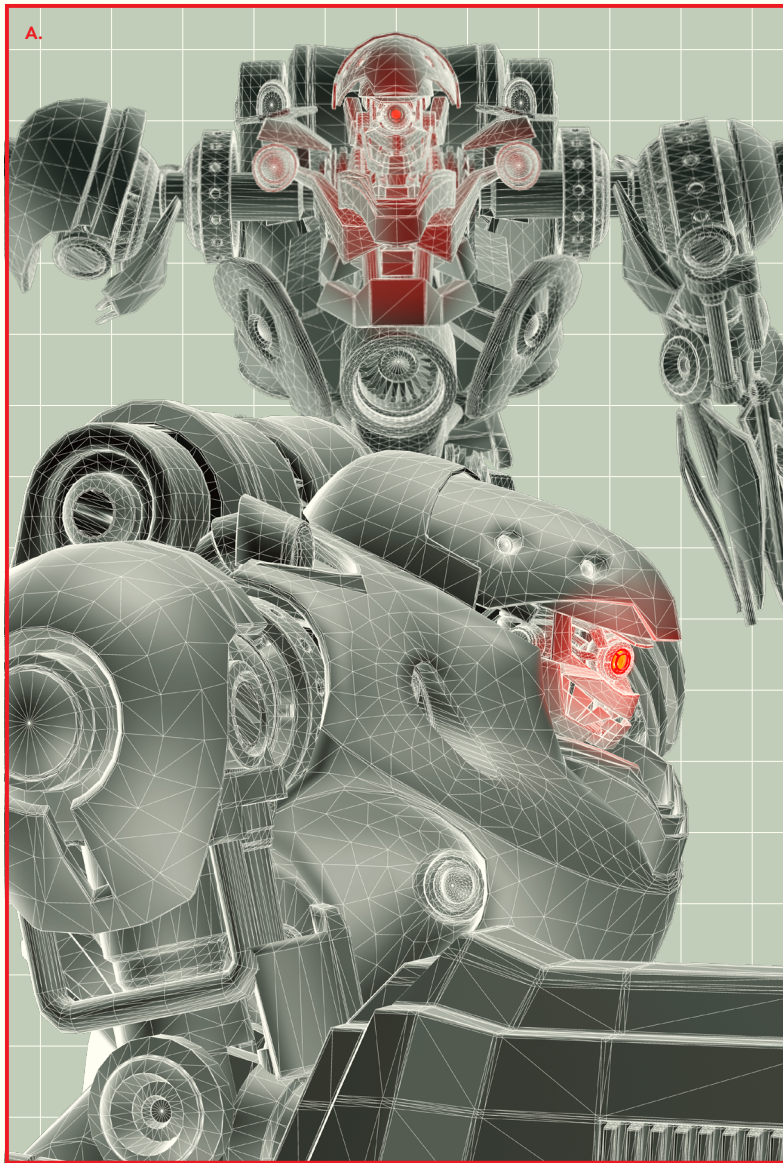




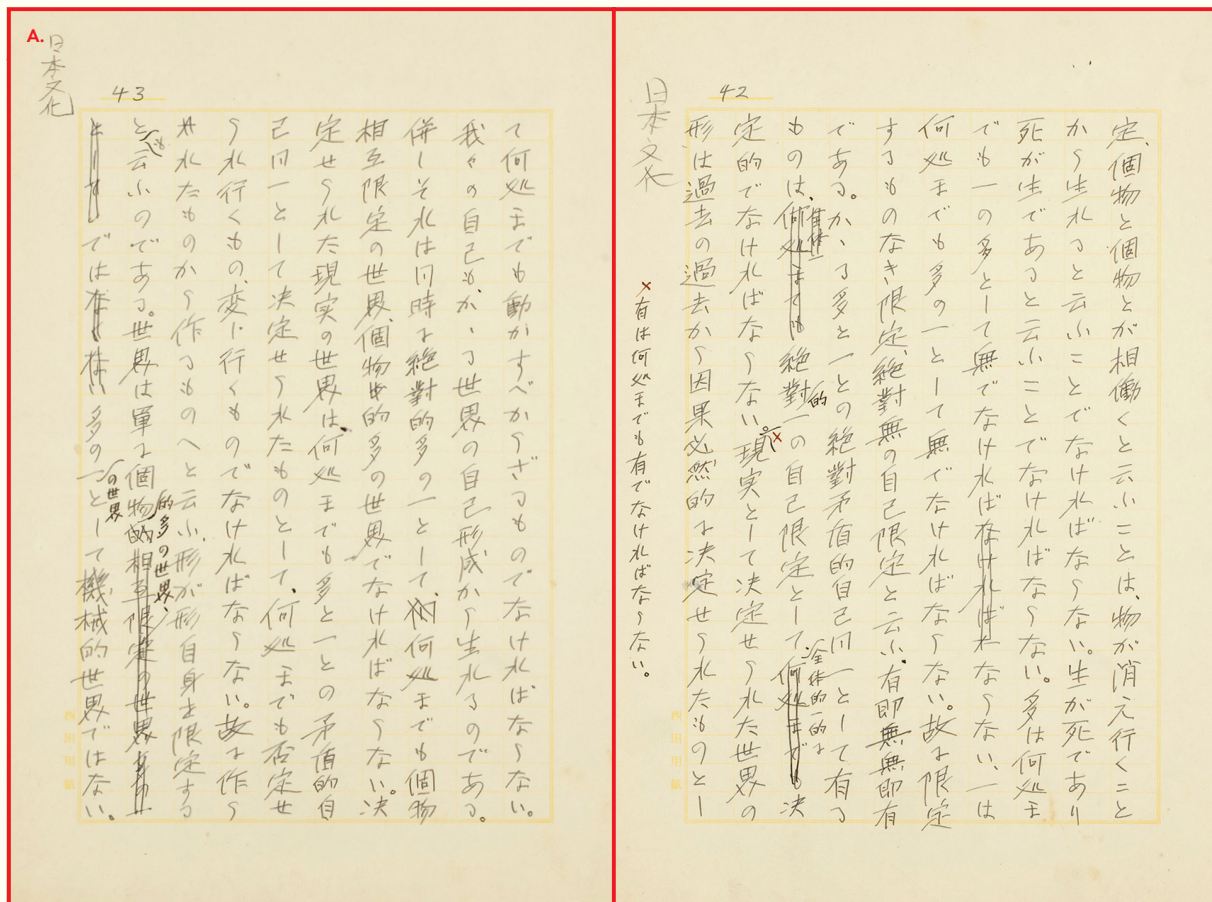
A. 作品に登場するロボットの3Dデザイン素材

B. 田辺元の手稿 出典：京都学派アーカイブ kyoto-gakuha.org

HoTzu Nyen — *Voice of Void* In collaboration with YCAM | YCAMとのコラボレーション | 2021年4月3日(土)~7月4日(日) | 山口情報芸術センター[YCAM]スタジオA

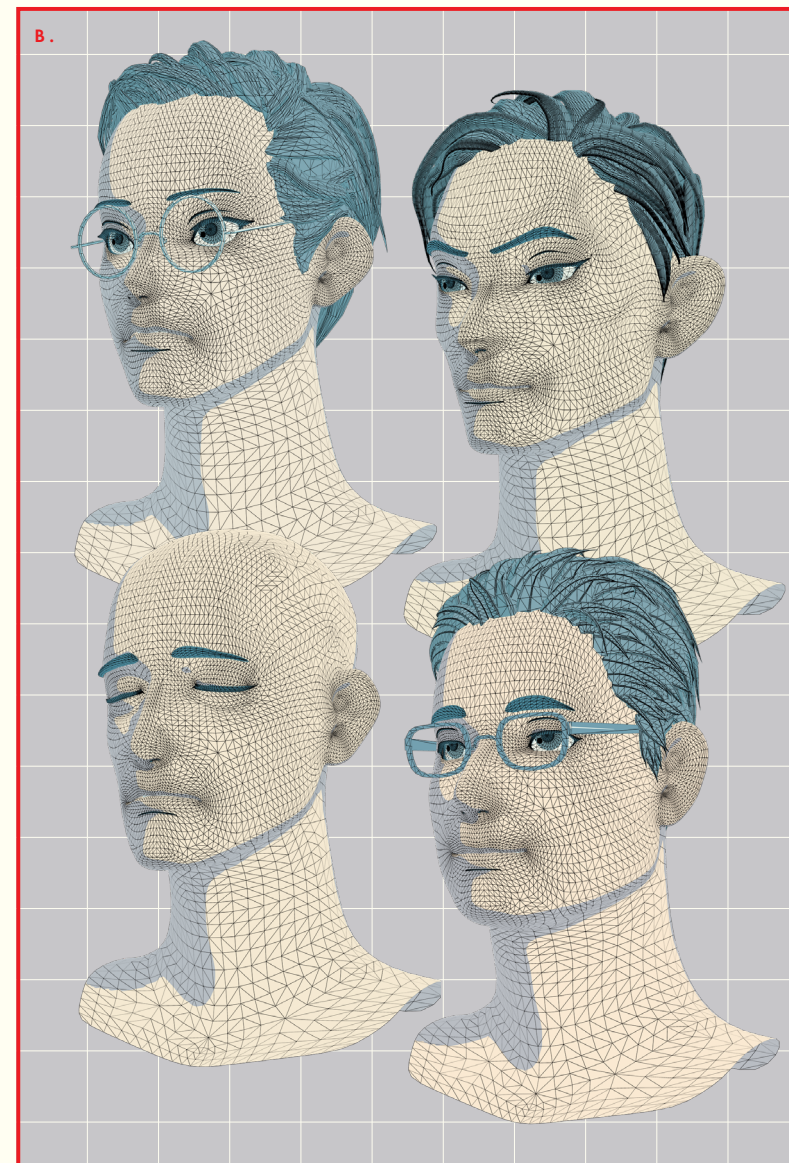
ホー・ツーニェン ヴォイス・オブ・ヴォイド — 虚無の声

Apr 3 SAT ~ Jul 4 SUN 2021, Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM] Studio A | Admission free | Closed every Tuesdays (except May 4); Apr 22; May 6, 12 & 13, 10:00-19:00 | 入場無料 | 休館日=火曜日(5月4日は開館), 4月22日, 5月6日, 12日, 13日



A. 西田幾多郎『日本文化の問題』の手稿 出典：京都学派アーカイブ kyoto-gakuha.org

B. 作品に登場する人物の3Dモデル



HoTzu Nyen – *Voice of Void* In collaboration with YCAM | YCAMとのコラボレーション | 2021年4月3日(土)~7月4日(日) | 山口情報芸術センター[YCAM]スタジオA

ホー・ツーニェン ヴォイス・オブ・ヴォイド — 虚無の声

Apr 3 SAT ~ Jul 4 SUN 2021, Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM] Studio A | Admission free | Closed every Tuesdays (except May 4); Apr 22; May 6, 12 & 13. | 10:00-19:00 | 入場無料 | 休館日=火曜日(5月4日は開館), 4月22日, 5月6日, 12日, 13日

シンガポールを代表するアーティスト、ホー・ツーニエン。

YCAMとのコラボレーションによる、「京都学派」をテーマにVRを用いた映像インスタレーション、世界初公開。

歴史上の人物やその逸話をもとに、公式に語られてきた歴史をイメージとテキストの集積によって紐解き、虚構や矛盾を含む複雑性を露わにさせるホー・ツーニエン。ホーは、映像作品やインスタレーション、演劇的パフォーマンスなど多岐に渡る表現活動を行ってきました。本展覧会では、1930年代から40年代にかけて日本の思想界で大きな影響力を持った「京都学派」をテーマに、VR（ヴァーチャルリアリティ）を用いた新作の映像インスタレーションを発表します。

京都学派は、「無」などの東洋的な観念を取り入れることで西洋哲学を乗り越えようとした西田幾多郎（1870-1945）や田辺元（1885-1962）を中心に形成されたグループです。その京都学派の「四天王」とも称された西谷啓治（1900-1990）、高坂正顕（1900-1969）、高山岩男（1905-1993）、鈴木成高（1907-1988）は、1941年11月末、真珠湾攻撃の直前に「世界史的立場と日本」という座談会を行ないました。本展では、この座談会を中心に、西谷、高坂、高山、鈴木 の4人と彼らをとりにく人々が1930年代から40年代に産み出した様々なテキストにVRとアニメーションを通してアプローチし、その複雑な背景を掘り起こします。

これまで東南アジアの近代史について、近年では「東南アジア」という概念形成に深い関わりをもつ第二次世界大戦期の日本についても取り組んできたホー・ツーニエン。一方、VRをはじめとするテクノロジーを用いた新しい芸術表現を模索してきたYCAM。両者のコラボレーションにより、VRによる登場人物への同一化を通して歴史の再演を試みます。

Ho Tzu Nyen untangles public history by accumulating images and texts of historical figures and anecdotes, thereby exposing complexities with embedded myths and contradictions. Ho has previously presented wide-ranging works of art including videos, installations and theatrical performances. This exhibition presents a new piece of moving image installation empowered by VR, featuring the “Kyoto School” philosophers, who exercised a significant influence upon the ideological world in Japan during the 1930s to 1940s.

The Kyoto School was formed by philosophers, principally Kitaro Nishida (1870-1945) and Hajime Tanabe (1885-1962), who aspired to overcome Western philosophy by drawing from Eastern concepts, such as “void (mu [無]).” The so-called Four Heavenly Kings (Shitennou) of Kyoto School, Keiji Nishitani (1900-1990), Masaaki Kosaka (1900-1969), Iwao Koyama (1905-1993) and Shigetaka Suzuki (1907-1988) held a roundtable discussion titled “The Standpoint of World History and Japan” at the end of November 1941, right before the attack on Pearl Harbor. This exhibition approaches the roundtable discussion and other texts produced by the circle around the “Kyoto School” during the 1930s-1940s, using VR and animation to uncover the complex background behind them.

Ho Tzu Nyen has in his previous works, often addressed Southeast Asian histories. In recent years, he has engaged with Japanese intellectual and political histories during WWII, which has in turn, deeply influenced the formation of “Southeast Asia.” YCAM, on the other hand, has employed technologies such as VR to explore new forms of artistic expressions. In their collaboration, an attempt is made using VR to re-enact history through projective identification with the characters.

A new project by Ho Tzu Nyen, an acclaimed artist from Singapore

World premiere in collaboration with YCAM

A moving image installation empowered by VR on “Kyoto School”

ホー・ツーニエン
シンガポール生まれ。さまざまな歴史的、哲学的テキストや素材から映画や映像作品、インスタレーション、演劇的パフォーマンスを制作している。近年の作品では、トラ人間（〈一頭あるいは数頭のトラ〉、2017年）や三重スナイ（〈名のない人〉、2015年）、裏切り者（〈神秘のライ・テク〉、2018年）といった変容する登場人物たちを扱っている。2011年ヴェネツィア・ビエンナーレのシンガポール館での個展をはじめとして、多くの国際的な美術展や舞台芸術祭、映画祭に招待されている。

展覧会情報
ホー・ツーニエン 「ヴォイス・オブ・ヴォイド——虚無の声」
YCAMとのコラボレーション
主催 山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援 山口市教育委員会
助成 公益財団法人花王芸術・科学財団
企画制作 山口情報芸術センター[YCAM]
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。新型コロナウイルス感染症対策や最新情報はYCAMのウェブサイトをご覧ください。本展覧会には、VR体験が含まれます。VR体験につきましては、対象年齢を13歳以上とさせていただきます。その他の映像は年齢制限なくご覧いただけます。
All programs are subject to change. For the latest information, please check our website. This exhibition includes VR works. For viewing VR works, the target age is 13 years old and over. Other video works can be viewed without age restrictions.

作品情報
ホー・ツーニエン 《ヴォイス・オブ・ヴォイド——虚無の声》
YCAMとのコラボレーション、2021年世界初公開
制作 山口情報芸術センター[YCAM]
共同制作 カディスト・アート・ファウンデーション、TPAM-国際舞台芸術ミーティング in 横浜
助成 ナショナル・アーツ・カウンシル（シンガポール）
-
声の出演 笛田宇一郎（笛田宇一郎演劇事務所）、高山明（Port B）、神里雄大（岡崎藝術座）、大石将弘（まごことノナイロ100℃ノスイッチ総研）、アギト、鶴舞裕平、村上晃一、矢吹
ドラマトルグ、翻訳 新井知行 **翻訳** 辻井美穂
音響空間デザイン Katsuhiro Chiba **3Dモデリング** 鳥谷部正輝
VRプラットフォームデザイン 堂園翔矢（Qosmo）、中嶋亮介（Qosmo）
グラフィックデザイン 鈴木哲生



関連イベント
申し込み方法などの詳細や最新情報につきましては、YCAMのウェブサイトをご覧ください。
☐ アーティストと制作チームによるトーク
日時 4月3日(土) 14:00-15:30
会場 ホワイエ - 要申込 参加無料 ※日英通訳あり
☐ サンカトーク
日時 4月17日(土) 5月22日(土) 6月12日(土) 26日(土)
各回 14:00-16:00
集合場所 ホワイエ
参加対象 13歳以上 - 要申込 参加無料
作品と自分、他者の「三者」を行き来しながら対話を行う、サンカトーク。作品について自分の考えを話し、他の参加者の話を聞き、新たな視点を発見します。
☐ 担当スタッフによるトーク
日時 4月10日(土) 5月1日(土) 6月5日(土) 各回 14:00-14:40
集合場所 ホワイエ
参加対象 13歳以上 - 要申込 参加無料
本展担当のキュレーターやエデュケーターが、作品のコンセプトや背景について解説します。
☐ 関連上映プログラム
日時 5月 **会場** スタジオC - 有料
作品やアーティストに関連する映画を上映します。詳細はYCAMのウェブサイトで見えます。

Y
C
A
M

山口情報芸術センター

Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL 083-901-2222

MAIL information@ycam.jp

www.ycam.jp

